



U. Fyodorova

フョードロワ姉妹

ソヴェトで人気のあるフョードロワ姉妹五重唱団は非常に特徴的なグループである。というのは、これらの若い娘たちのたどった道は、向上の道がひらかれているソヴェトでなければできないことである。5人の姉妹は、プスコフシチナ（ロシアの北部）に住んで、その家の出身である。10月革命後、間もなくこの家族は、レニングラドの両親は造船所で働くようになった。みんなが集った夜などは、フョードロワの部屋には、ロシア民謡がよくうたわれ、一家は大へん歌を愛した。1944年、娘たちは工場クラブの合唱サークルに通うようになった。指導者は、すぐにその才能に気がつき、その音の豊かさ、豊かなハーモニアンスの細かさには、更にみがきがかけられていった。その後、ソヴェトのコンクール、モスクワでの全ソヴェトの有能な演奏家のコンクールでは、常に賞を勝ち得た。以後姉妹は、国内の多くの都市を、ハンガリー、フィンランド、ルーマニア、インド等、国外でも多くのタペストの世界青年学生友好祭では第一位を獲得した。こうしたフョードロワ姉妹によってうたわれるロシア民謡は、そして独得のものであり、そのなかには、ロシア民謡のあらゆる特徴が凝縮されているのである。バヤン伴奏をするイヴァン・チーホノフは感銘的である。

勇やけはクバン川の上で真赤に

踊の歌

ガルモニーよ、踊の中に鳴りひびく
舞の上で彼の指は非常な速さで見
番が見えかくれする。ガルモニー
出た。他に5人の娘が一度におど
（返す）私たちの故郷では、みんな
人の娘は若者と呼んだ。「それ、
愛する若者たち！ 手足を惜しまず
踊り続けるのだ。これは決して
ガルモニストに楽器を下し、輪の
止まった踊り手が一對、二対、

明るい月

ごらん、月が川面に照っている。
あな言葉を用意して待っていても
今夜を誰と共にすごしたらよいか
ように空に輝いているが、草の上で
月は川の上に照り輝き、また雲に
照るまで彼を待っているのに、言

カッコウが鳴く

カッコウが暗い森の中でない
ける人よ、あなたはほんとうに私
らへとんでいきます」

私の知らないうちに

私の知らないうちに、私が何もきい
に、彼女はなめらかな足どりで
ぞ、パンに砂糖をいれて焼き、プ

野の道は一本ではない

野の道は一つでない。無限と広く、
なる。

冬になれば物悲しくて

冬に牧夫の心に嵐が吹く。冬の